

ありのみ通信 NO.8

H12.9 発行者：相倉 雪

〒910-4276 福井県坂井郡芦原町誠3-33

Tel 0776-79-1930 Fax 0776-79-1180 E-mail : maiikana@mb.infoweb.ne.jp

この梨は豊水（ほうすい）と言います。

幸水梨よりは日持ちしますが、完熟したものを収穫していますので、開封後冷蔵庫で保存し、出来るだけ早くお召しあがり下さいませ。

前号でも書きましたが、4月24日の明け方、局地的にアラレが降りました。この時期は、いつも大気の状態が不安定で、どこかではアラレやヒョウが降ったりしているのですが、私には初めての出来事でした。昨日までは真っ白な花が満開で咲いていたのに、見るも無残な状態になっていました。花びらは散り葉は穴だらけ……ちょうど豊水の受粉が終わり、今日から幸水の受粉という日でした。幸水は被害の受けてない花を選んで受粉しましたが、豊水はすでに受粉した後だったので、摘果の時点で被害のない梨を選びました。本来なら、良い梨になるという3-4番目の実を選ぶのですが……そんな事があって、今年の梨の実坊やたちは、少し小ぶりやヤケドの跡のような傷のついている子たちもいますが、どうぞかわいがってください。



今年は空梅雨に続き、この辺りは7月25日から9月2日まで雨が降らず連日30度を超える日が続きました。毎年やってきた事が今年は通用せず、自分の経験のなさにイライラし、お客様にご迷惑をかけたと反省しています。来年はこの経験を生かして梨作りをしたいと思えます。

健康な梨の実切やを育てるために私が出来る事は、土を健康にする事だと思っています。そのために除草剤はやりません。肥料はなるべく有機質100%のものを使っています。収穫後に完熟堆肥をいれます。そして、今年から栗の腐生菌で作った消し炭（これは天の恵力で出来ました…かっ！）を土に入れたいと思います。こうすることで、“多穴性”という炭の特性により、土の中には水と空気と肥料がたくさん蓄えられ、さらに微生物がその穴を住みかにも働くので、根っこが元気になるそうです。

丹誠込めて育てていますが、もし何かお気付きの点がございましたら、ご一報頂ければ幸いです。ありがとうございました。



雪のひとりごと

昨年お客様から「こんないいものがあるのよ」と梨のクッション資材を紹介していただきました。早速今回から取り入れました。お叱りでも要望でも、お客様の声がききたいです。どうぞ気軽に一声掛けてください。（メールは毎晩みています） 雪

クッション資材のいい再利用方法のあたりを教えてください。

